

令和3年～令和7年の7～9月(夏山)における山岳遭難事故発生場所

＜夏季ハケ岳の死亡事故のうち、主な原因は転・滑落です！＞

○「自分の技術・体力にあった適正な登山計画づくり」「ヘルメットの装着」等で事故を防ぎましょう。

＜落雷・ゲリラ豪雨等による気象遭難に注意＞

○夏山の天候は比較的安定していますが、積乱雲が発生しやすく、広い範囲で落雷やゲリラ豪雨が発生します。硫黄岳頂上付近、阿弥陀岳～御小屋尾根下山ルート、北ハケ岳、蓼科山頂はドーム型の岩場等は荒天時、濃霧時に迷いやすく注意が必要です。

＜転・滑落、スリップ、落石に注意＞

○横岳、赤岳、阿弥陀岳稜線、地藏尾根の各岩場、県界尾根、大同心・小同心、文三郎新道はしご場上部～赤岳頂上直下は転・滑落に注意！南ハケ岳一帯は岩質がもろい場所が多いため、落石・浮石にも注意！蓼科山將軍平（蓼科山荘）～山頂の登山道は傾斜した1枚岩（約6m×5m）があり、スリップに注意！7合目登山口～頂上は落石に注意が必要です！

北ハケ岳では発病や転倒事故に注意

南ハケ岳での下山中の滑落事故多し



天狗岳（6件）
転倒、疲労・道迷い

東天狗岳（5件）
転倒、病気、滑落
※重傷者あり

赤岳鉱泉付近（4件）
病気

北沢付近（1件）
病気

南沢付近（5件）
病気、転倒、装備不備
※死亡者あり・重傷者あり

中岳（1件）
転倒 ※重傷者あり

阿弥陀岳（2件）
疲労、落石 ※重傷者あり

西岳（3件）
病気、疲労、転倒
※重傷者あり

権現岳（3件）
転倒、疲労 ※重傷者あり

